

令和7年度 第4回 浜松市中央区協議会西地域分科会

日時：令和7年7月2日（水）
午後1時30分～3時（予定）
会場：舞阪支所 1階 ホール

次 第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 区長あいさつ
- 4 お知らせ・その他 ☞ 資料A（P. 5）
- 5 地域課題の意見交換 ☞ 資料B（P. 7） 資料C（P. 15） 資料D（P. 25）
 - （1）防災訓練参加者の減少に歯止めを掛けたい ☞ 資料1（P. 1）
【令和6年度 地域課題（まとめ）】 P.1
 - （2）安否確認について ☞ 資料2（P. 3）
【令和6年度 地域課題（まとめ）】 P.13
- 6 閉会

No.	1	提案委員氏名	片山 幸一																				
1	「地域課題」																						
「防災訓練参加者の減少に歯止めを掛けたい」 (舞阪町砂町自治会) ・当自治会の令和6年度の加入世帯数は319世帯、自治会員数は780～800人です。 ・令和2年度(2020年)の国勢調査によれば、砂町地区の65歳以上の割合は40.5%です。過去5回の国勢調査から令和7年度を予測すると42.1%となります(令和5年2月24日、西区区振興課「地域の未来予測をしてみませんか」より)。 ・浜松市の防災訓練計画に合わせて、年3回の防災訓練、津波避難訓練を実施している(9月、12月、3月)。 ・過去の地域防災訓練(12月)の参加者数 <table><tr><td>2014 H26</td><td>2015 H27</td><td>2016 H28</td><td>2017 H29</td><td>2018 H30</td><td>2019 R1</td><td>2020 R2</td><td>2021 R3</td><td>2022 R4</td><td>2023 R5</td></tr><tr><td>224人</td><td>202人</td><td>196人</td><td>186人</td><td>168人</td><td>141人</td><td>127人</td><td>117人</td><td>82人</td><td>70人</td></tr></table> ・参加者の減少は「訓練のマンネリ化」、「訓練のPR不足」、「住民の高齢化」、「新型コロナウイルス感染症の発生」等が原因か。 ・令和2年12月の訓練でアンケートを取りました。「避難訓練は気持ちを引き締めるために必要である」、「避難経路が確認できてよかった」等のある一方「役員だけの訓練で終わっている」という意見もありました。				2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	224人	202人	196人	186人	168人	141人	127人	117人	82人	70人
2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5														
224人	202人	196人	186人	168人	141人	127人	117人	82人	70人														
2	他の委員への依頼したいこと																						
住民に防災訓練へ参加していただくために、「訓練内容」、「訓練の案内文」等、工夫されている自治会(自主防災隊)、または団体があれば教えていただきたい。																							
3	行政から情報提供を求めたいこと																						

- ① 若い世代の参加を増やすため、防災アプリ「静岡県防災」の中のメニューにある、「避難トレーニング」等を利用し、ゲーム感覚でできる避難訓練を行う。
- ② 防災訓練を地域のコミュニケーションツールの一つとして、訓練終了後に住民同士が集い、楽しめるイベント？を計画する。

No.	7	提案委員氏名	中村 久実
1	「地域課題」		
安否確認について 前年の地域課題についての意見交換で、他自治会の取り組み内容をまとめた資料を（自治会の）区長へ渡したところ、重要案件として取り組まないといけないと言ってくれましたが、現時点、今年度の自治会では何の進展もありません。			
2	他の委員への依頼したいこと		
自治会連合会との意見交換、情報提供はあるのかというか、自治会連合会主体の安否確認訓練の予定はあるのか。			
3	行政から情報提供を求めたいこと		
浜松市主体の防災訓練に安否確認訓練はありますか。			
4	提案など		
浜松市の防災訓練のひとつとして訓練してくれれば、実施に向けて動いてくれると思います。			

Go!みんなで404チャレンジ

市では、一人1日あたりの家庭系ごみ排出量を令和10年度までに令和2年度の実績値から100グラム(1000mlの牛乳パック3枚分)減量し、404gを目指しています。

[概要チラシ \(PDF: 2,245KB\)](#)

1. 一人1日あたり家庭系ごみ排出量の目標値

令和7年の目標値：441.5g 一人1日100グラムのごみ減量を目指しましょう！

(単位：g)

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
目標値(年度別)	504	491.5	479	466.5	454	441.5	429	416.5	404
実績値(暦年)	500.8	496	488.3	462.5	452.8	424.5(※)	-	-	-

令和7年1～5月までの実績値

家庭系ごみ排出量の目標・実績値

< 一人1日あたりのごみの量(暦年/年度別) >



日頃、ごみの減量にご協力いただきありがとうございます。
令和6年は目標を達成することができました。引き続き減量にご協力をお願いします。



ごみの減量・リサイクルは、循環型社会の構築やSDGsの推進、二酸化炭素排出量の削減など地球環境の保全を図るうえで避けて通れない課題であり、ごみ処理施設の延命化や将来世代の負担の軽減にもつながります。[⇒なぜごみを減らさなければならないの？](#)

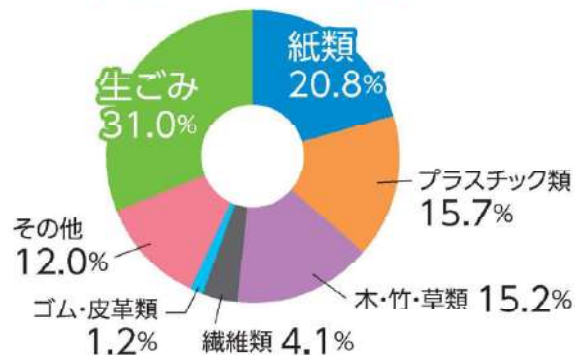
本市は市民の皆様と一緒に、目標値達成に向けてごみの減量・リサイクルに協働して取り組むことが重要であると考えています。また、令和6年2月議会にて、[家庭ごみ有料化に関する改正条例](#)が可決されました。この条例改正では、実施時期を決めていません。達成状況を毎年見極めつつ、その結果や社会経済情勢によって、家庭ごみ有料化の実施について検討していきます。

市民の皆様には、直ちに家庭ごみ有料化を実施するものではないことと、家庭ごみの減量やリサイクルについて、ご理解・ご協力をいただきたいと考えています。「Go!みんなで404チャレンジ」をスローガンに、我々と一緒にごみの減量・リサイクルに取り組みましょう！

2. 家庭系ごみの内訳

家庭から出るごみの9割以上が「もえるごみ」です。もえるごみの約90%を占める「生ごみ」「紙類」「プラスチック類」「草木類」の4つを中心に、一人1日100グラムのごみ減量を目指しましょう。

家庭系もえるごみの内訳



内訳は令和5年度ごみ質分析結果を参考とした(浜松市調査)

令和7年6月23日
舞阪地区自治会連合会
片山 幸一

地域課題No.1

■「防災訓練参加者の減少に歯止めを掛けたい」（片山 幸一委員）

◇ 地域での取り組み(舞阪町第一弁天島自治会)

- ①一弁地区の現状は、自治会役員主体の訓練になっており、役員以外の住民の参加者が少ないのが課題です。
また小中高校生等、若年層の参加が少ないのも悩みです。
- ②参加者数の減少対策として、「水消火器による消火訓練」「担架設置訓練」「AEDの使用訓練」「救急救命訓練」「防災ビデオ視聴」「仮設トイレ設置訓練」「可搬ポンプによる放水訓練」「バケツリレー消火訓練」「有識者の防災講義」「炊き出し」等、訓練内容の工夫をしていますが参加者増に繋がっていません。
- ③小学校、中学校への働きかけにより、児童・生徒の参加を促すことも検討したいと考えます。
- ④現状は自治会役員主体の訓練になっていますが、自治会員にとって数年に一度は自治会役員が回ってきますので、継続して訓練を行えば大半の自治会員が訓練を経験出来ることになります。
「継続は力なり」です。

◇ 地域での取り組み(舞阪町砂町自治会) ※別資料参照

- ①「講演会」、「防災ビデオの視聴」などを利用した訓練・勉強会を実施した。
- ②住民が防災や防災訓練について考える機会を作った。（フリートーク等）
- ③住民が気軽に参加できる訓練を考えた。「甘酒の配給」、「炊き出し食の配給」

地域課題No.7

■「安否確認について」（中村 久実委員）

◇ 地域での取り組み(舞阪町砂町自治会) ※別資料参照

砂自回覧

令和6年11月15日
砂町自主防災隊
隊長 片山 幸一

自治会員の皆様へ

砂町地域防災訓練のお知らせ

令和6年12月1日(日)

〔小雨の場合は決行します。(※1 但し「講演」のみ)〕

今回の防災訓練は災害発生時において浜松市や舞阪地域の医療体制がどのようなになっているかを知っていただくため、『津波と災害時の医療体制について』（講師：鈴木直浩氏/浜松市消防団浜松第43分団所属）の講演を行います。

また、「可搬ポンプ運転訓練」、「水消火器による消火訓練」及び「避難タワーの開錠訓練」なども行いますので、住民皆様のご参加をお願いいたします。

尚、会場の広さの関係で2グループ（[1班～4班]、[5班～8班]）に分けて訓練を行いますので、集合場所、時間にご注意願います。



〈訓練内容〉

□ 1班～4班（集合時間：9時15分までに南部集会所へ集合）

9時20分～10時	講演『津波と災害時の医療体制について』《南部集会所》
10時10分～10時50分	可搬ポンプ運転訓練、水消火器訓練など 《津波避難タワー》

□ 5班～8班（集合時間：9時15分までに避難タワーへ集合）

9時20分～10時	可搬ポンプ運転訓練、水消火器訓練など 《津波避難タワー》
10時10分～10時50分	講演『津波と災害時の医療体制について』《南部集会所》

（※1）小雨の場合は「講演」のみ実施いたします。グループ分けは行いませんので、9時15分までに南部集会所に集合して下さい。（開催時間：9時20分～10時）

□12月1日には同報無線からサイレンが鳴ります。

●午前8時50分「訓練のお知らせ」⇒●午前9時「地震発生【サイレン（60秒間吹鳴）】」
⇒●午前9時5分「大津波警報【サイレン（3秒吹鳴・2秒休止）×3回】」（2回繰り返し）

問合せ先（片山）Tel 592-9390

砂自回覧

令和6年12月15日

砂町自主防災隊

12月1日、砂町地域防災訓練を実施

～地震への備えを、再確認して下さい～

12月1日(日)、住民94名が参加し、砂町津波避難タワーでは可搬ポンプの運転訓練、水消火器による消火訓練を行い、南部集会所では消防団員(鈴木直浩氏)による「災害時の地域の医療体制など」の講演を行いました。

今年は1月1日に「能登半島地震(震度7)」が発生し甚大な被害が出ました。8月8日には宮崎県南部で震度6弱の地震があり、震源地が南海トラフ巨大地震の想定震源域内であったため、「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」発表されました。この遠州地域は南海トラフ地震の発生が予想されるため、1週間程「注意(※1)」が呼び掛けられました。9月21日「能登半島に記録的豪雨」で、この地域に再び大きな被害がでました。

記録に残る災害が多発したため、住民の防災意識が高まっている中での訓練でした。

※1

☒ 避難先などの確認
 ☒ 家族の居場所や連絡方法を確認
 ☒ 非常用持出袋やヘルメットを玄関に置く
 ☒ 家具の固定(転倒防止対策など)

◇参加者

	講演	可搬ポンプ等	両方参加	どちらかに参加
	砂町南部集会所	砂町津波避難タワー		
1班	8	9	7	10
2班	7	7	3	11
3班	7	8	6	9
4班	4	3	2	5
1班～4班計	26	27	18	35
5班	12	13	11	14
6班	14	11	9	16
7班	7	12	7	12
8班	1	2	1	2
5班～8班計	34	38	28	44
計	60	65	46	79
育成会・老人クラブ(炊き出し)				15
合計				94



◎朝7時半から炊き出しをしてくださいました、老人会、育成会の皆様、ありがとうございました。

裏面に砂町の防災訓練が『静岡新聞』に掲載されましたのでご覧下さい。

砂自回覧

自治会員の皆様へ

令和 7 年 2 月 15 日
砂 町 自 主 防 災 隊
隊 長 片 山 幸 一
問 合 せ 先 (592-9390)

砂町自主防災勉強会のお知らせ

～平時に連携・協力できなければ、災害時の連携・協力は難しい～

3 月 9 日

(日曜日)

雨天中止

日頃、自主防災活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、浜松市津波対策推進旬間《3 月 7 日(金)～16 (日)》に合わせて、当地区も下記の内容にて防災勉強会を実施いたします。

平時の時こそ、災害への備えを確認して下さい。

南部集会所では甘酒を用意していますので、是非ご家族やご近所の方をお誘いの上ご参加下さい。

□ 集合場所:砂町南部集会所

□ 集合時間:午前 9 時 20 分までに集合して下さい。

時 間	内 容
9 時 20 分～9 時 50 分 (約 30 分)	《ビデオ視聴》 「能登半島地震 緊迫の 72 時間」 ※地震発生から72時間を記録したビデオです。
9 時 50 分～10 時 30 分 (約 40 分)	《防災について考えましょう》 ① 災害に備えて、平時に準備しておくこと。 ② これから、どのような防災訓練が必要ですか？

◇3 月 9 日は同報無線からサイレンが鳴ります。

同 報 無 線	午前 8 時 50 分	「訓練のお知らせ」
	午前 9 時	「地震発生【サイレン (60 秒間吹鳴)】」
	午前 9 時 5 分	「大津波警報【サイレン (3 秒吹鳴・2 秒休止) ×3 回】」(2 回繰り返し)

砂自回覧

令和7年6月15日

砂町自主防災隊

隊長 片山幸一

避難訓練(ビデオ視聴)についてのアンケートまとめ

■日時:令和7年3月9日(日) ■場所:砂町南部集会所

■訓練内容:ビデオ視聴「能登半島地震 緊迫の72時間」

■参加者:42名



1. このビデオを視聴した感想をお書き下さい。

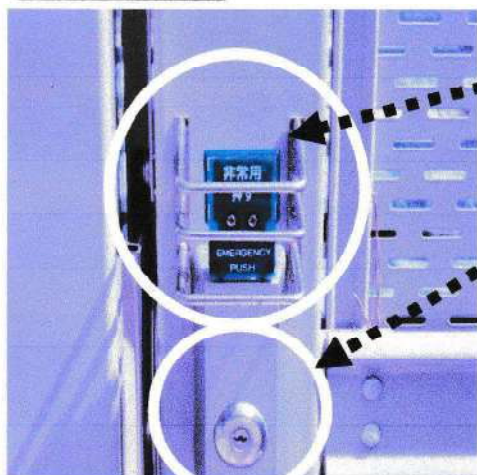
- 新聞、テレビを見てお宮に逃げればと考えていましたが、ビデオを見たら家から出られず呆然としていると思いました。(男性 89歳)
- 日頃から防災について頭のどこかに留めておく。家族とも話し合っどどこに避難するか決めておく。近所の人顔を見たら話しかける、話したら食事をするようにして徐々にコミュニケーションを取っていくようにしたい。(75歳)
- 震災が大きくなればなるほど、自分の身は自分で守るしか無いと思う。仲間は助けてはもらえないのか？常に災害にあったときに避難する場所を意識する。(男性 62歳)
- 自助・共助・公助のなかで、今自分たちに出来ることは何かを考える機会が必要。(少しキツイ対応になるが)誰かが助けてくれることはないことを知らしめることも必要。(男性 77歳)
- 大きな地震が起こったときの自己対応について大変考えさせられた。津波の到達時間が15分程だったことを知って参考になった。(男性 73歳)
- 今まで防災訓練に参加したことがなかったので、このビデオを見て怖いと感じました。ネットでも今年は地震が多いと騒がれています。すぐ近くの避難タワーへ逃げようと思っています。(女性 73歳)
- 有事に自分の身にどんな被害がおよぶかを想像するのは難しいので、実際の地震の被災状況を知ることができてとてもためになった。とりあえず出来ることとして、耐震診断に申し込んでみようと思いました。(48歳)
- 水の確保、電気配線の見直し、ブレーカーチェック、避難場所・避難ルートの確認を行っていく。(男性 69歳)
- すぐに逃げる(女性 71歳)
- 自分の命は自分で守る。地震の揺れが60秒続いたら、どこかで大地震が起きていると聞き震えました。皆で協力し合っど動く必要を感じました。ありがとうございました。(女性 81歳)
- 参考になりました。(女性 82歳)
- 電気が止まり、夜に暗闇になると一掃怖いと感じました。他人事ではなく自分の事と思わなければいけないと思いました。(女性 80歳)

- 災害が起きた時、「まず何をするか」、「何ができるか」を日頃から考えておくことが大切と思った。(男性 62 歳)
- まだ自分が避難する場所を決めかねているので、家族できちんと話し合い、早急に決めなければいけないと感じました(女性 68 歳)
- 昨年はお正月から地震になり大変でした。他人事とは思えませんでした。ビデオで被災者の「生の声」を聞いて地震に対する意識が変わり、何をしたら良いかと考えさせられました。(女性 65 歳)
- ビデオを見て心が痛むことばかりでした。訓練に参加することで住民の顔も見える。また自分の班、組を知らない方もおられた。(女性 81 歳)
- いつ被災するか分かりません。他人事では無いと思いました。(男性 65 歳)
- 連絡網必須。避難経路の確保。火の元の対応 1 番。避難のタイミング。第一に自分の身は自分で守る(男性 63 歳)
- ビデオを見て痛感しました。地震が来たらとにかく早く逃げる。ガスや電気のブレーカーを切ること。助かったときを考え、一週間くらいの備蓄を準備すること。夜の睡眠は 2 階以上で取る。常に自覚を持つこと。(女性 76 歳)
- 防災知識を常に持つ。備蓄品のチェック。地震が起きたら迷わず避難する。(女性)
- 地震のビデオを視聴して色々考えさせられました。これから防災のことをやりたい(考えていきたい)と思います。大変良かったです。(70 歳)
- 津波がきても逃げ場がない。神社も低いと思う。津波の高さが半端ではない。これからの人生が長い、若い人達を守る方法を考えて欲しい。(女性 73 歳)
- とても参考になりました(女性 74 歳)
- 恐ろしい。この地域に来ないように願う。どこに逃げようか?(男性 70 歳)
- とにかく早期に避難することが大切!(男性 63 歳)
- 普段から災害に対する気持ちを持つことは必要と思う。「避難経路」や「災害時に何が必要か?」を常に考えておくことは大事だと思う。(男性 60 歳)
- 予想もつかない状況を見て自分がどうすれば良いか改めて分からないと思いました。この状況のまま過ごすことが良くないことだけは分かります。(女性 49 歳)
- 何が起こるか分からない。(女性 65 歳)
- 新たな情報を得ることが出来ました。ありがとうございます。(女性 80 歳)
- 自分が出来ることは火災を防ぐことかな。自分の安全を守ることを優先しながら避難する。(男性 69 歳)
- 参考になりました。(女性 48 歳)
- 特に国(市、町も)はテレビや SNS を使って、被災した人の経験(体験)を伝える。(男性 75 歳)
- 東日本大震災発生後、避難訓練(情報伝達も含む)を重ねていても、能登半島地震のように実際(現実)は対処出来ないことがある。「自分がどのような状況になっているか?!」、「不測の事態に自分がどう動けるか?!」、問題提起された気がします。(女性 57 歳)

2. 今後どのような防災避難訓練が必要だと思いますか。また自主防災についてご意見がありましたらお書き下さい。

- 訓練は必要と思う。(訓練の内容は聞かれると難しい。)
- 砂町の若い人(家族、子ども、学生)に聞いて取り入れる。
- 「避難場所、ルートの地図」の配布。「絶対してはいけない行動」、「行ってはいけない場所」をまとめた資料の配布。町は防災対策として何を準備しているのかを町民に知らせて欲しい。
- 同じ訓練でも続けた方がよい。
- 避難訓練の避難場所が実際に避難する場所ではないので意味が無いように感じています。本当に避難する場所です実施する方がよいと思う。
- (※1) 避難タワーの鍵は？発災したときは？ (※2) 自治会費の金額の根拠は？
- 講習会を毎年続けて欲しい。
- 避難タワーがあっても足腰が悪くなっていると登れないと、多くの人から聞きます。
- 若い人の参加が必要です。
- 「避難所の運営訓練」、「小・中学校と連携した訓練」を行って参加を増やす。
- 楽しい行事をお願いします。《楽しく参加できる訓練のことですか？》
- 子どもや若い人に参加してもらうのは良い考えだと思う。
- 体験型の訓練が良いのでは。身体や手を実際に動かす訓練。さらに知識的に効果があること。《災害に役立つ知識のことですか？》
- 集まったの防災訓練は難しくなってきたので、ビデオ見て覚えることから始める。

(※1) 回答 避難タワー入口の扉の『開錠、施錠』について



① 普段は施錠してありますが、非常時は緑色の金具を強く奥に押す。(鍵を使用しなくても扉は開きます。)

② 施錠するときは鍵がないと施錠出来ません。(鍵は自治会長、副会長が所有しています。)

(※2) 回答 自治会費の金額の根拠は？

- ◆ 「令和 7 年度砂町自治会通常総会」資料(全世帯配布)の「令和 6 年度収支決算報告」並びに「令和 7 年度収支予算」をご覧ください。自治会活動において支出されている費用が分かります。「役員手当」、「各団体への負担金」、「事務費」及び「自治会所有施設の光熱費、修繕費」、「施設の火災保険料」等。また将来、施設の立替・修理のための積立も行っています。無駄は出来るだけ無くし、現在の自治会費で何とか活動をおこなっている状況です。詳しい説明が必要でしたら、自治会長(片山)までお問い合わせ下さい。

令和7年5月1日作成

令和7年度(2025年度) 舞阪町砂町自治会 (災害時安否確認名簿)

1班		世帯数	24	要支援者 (同意者)	2	自治会 未加入世帯	1
		会員数	48	77歳以上 (未加入者含む)			

◎班長(自主防災リーダー) ○副班長 ★組長

組	No.	役員	世帯代表者		住所 (中央区舞阪町舞阪)	電話番号	会員名							人数	津波発生時の避難場所(※1)	
			①名前	年齢			②名前	年齢	③名前	年齢	④名前	年齢	⑤名前	年齢	避難先	左記までの時間(分)
1組	1		*****	**		-	*****	**						2		
	2	★	*****	**		-	*****	**						2		
	3	○	*****	**		-	*****	**	*****	**				3		
	4		*****	**		-	*****	**	*****	**	*****	**		4		
	5		要支援者	**		-								1		
3組	5	12				-										
	1													3		
	2													1		
	3													2		
	4													2		
	5													1		
	6													3		
	7													4		
4組	8	★												1		
	1													3		
	2													2		
	3		要支援者											1		
	4													1		
	5													1		
	6													3		
	7													2		
	8													2		
	9													2		
	10	◎★												2		
世帯 会員	11	19					-							0		
自治会 未加入者							-							1	1班4組	

◎舞阪地区自治会連合会(8単位自治会)が行う安否確認訓練は実施していない。また今のところ予定無し。単位自治会での安否確認は各地区で行っている。

◎舞阪町砂町自治会としての安否確認訓練について

①安否確認名簿は作成してある。(内容は十分とはいえないが)

・名簿は毎年、総会委任状と一緒に「災害時の安否確認名簿として利用する」ためと明記し住所、世帯全員の名前を記入してもらっている。

・電話番号、年齢は数年毎記入してもらう。(直近では令和3年度に取得)

②名簿は防災訓練の時、参加者の受付用として使っている。(名前と顔が確認出来る)

③現在のところ、それ以外の利用はしていない。

④(※1)の項目については、現在捉えていない。来年度以降、項目も含め記入を考える。

令和6年度 浜松市地域防災訓練実施要領

1 目的

「地域の特性に応じた防災体制の確立」と「市民の防災意識の高揚による減災の実現」を目的に、市民・自主防災隊が中心となって、地域の特性に応じた地域防災訓練を毎年度実施している。

静岡県地震・津波対策アクションプログラム2023では、「想定犠牲者の9割減災」と「被災後生活の質的向上」を目指しており、浜松市においては、自助・共助を見直す取り組みを推進することで、地域防災力の更なる向上を図る。

2 訓練実施日

令和6年11月1日（金）～12月1日（日）「地域防災の日」

訓練実施日は必ずしも上記日程内である必要はありません。各自主防災隊が任意の日を設定しても構いません。

3 訓練想定

各地域の特性に応じ、地震・津波・風水害による被害などのリスクを踏まえた想定のもと訓練を実施する。

4 スローガン（令和6年度地震防災強化月間）

「備えてた 過去の私に ありがとう」

5 訓練実施項目及び配慮事項

訓練実施項目については、別紙1「訓練項目例」を参考として実施するものとする。家庭や自主防災隊における自助・共助の防災力を高めるために、本年度積極的な実施を推奨する項目を重点項目とする。

なお、実施に当たっては、地域特性を踏まえ実施するものとする。 ※下線は西行政センターで追記。

<重点項目 概要>

自助	○「わたしの避難計画」「マイ・タイムライン」の作成・点検、「地区津波避難計画（作成済の地区のみ）」の確認 ・ハザードマップで自分のいる場所の災害リスクを確認（浜松市防災マップの活用） ○緊急防災情報の確認（「南海トラフ地震臨時情報」「特別警報」「避難情報」など） ○避難訓練など自主防災活動への参加 ・避難場所、避難経路、避難所要時間の確認（「静岡県防災」アプリの活用） ○身の回りの防災対策の確認 ・家具類の固定 ・家庭内の7日分の生活物資の備蓄 ・携帯トイレの備蓄 ○能登半島地震を踏まえて追加する重点項目 ・住宅の耐震化の確認 ・火災防止対策の確認（感震ブレーカー、住宅用火災警報器などの備え） ・電気、ガス、水道、電話、交通機関等の被害の発生を想定した備えの確認
----	---

共助	○避難所運営訓練の実施 ・ 自主防災隊の運営体制の確認 ・ 女性の視点を取り入れた避難所環境や運営方法の確認 ・ 避難行動要支援者の所在の把握と支援方法の確認 ・ 上記確認事項を踏まえた避難所運営訓練の実施 ○避難訓練の継続的な実施 ・ 避難所要時間や避難経路の検証 ・ 若年世代の地域防災活動への参加 ○計画、マニュアル類の継続的な見直し、確認 ・ 地区津波避難計画（作成済みの隊のみ）の見直し ・ 避難所運営マニュアルの確認 ○能登半島地震を踏まえて追加する重点項目 ・ 自主防災隊における情報伝達方法の確認（隊員間及び市との情報伝達） ・ 感染症対策や衛生環境改善（簡易トイレ、マンホールトイレなど）を踏まえた避難所運営訓練 ・ 孤立が予想される地域における対応（住民が主体となったヘリポート開設訓練、通信手段の確認、給水訓練や炊き出し訓練など）
----	--

6 中止基準

ア 各隊の訓練中止基準は独自に定めるものとし、下記イを参考にする。

イ 浜松市として、12月1日のサイレン吹鳴等を中止する基準は、下記のとおりとする。

- (1) 市内に津波注意報、津波警報又は大津波警報が発表されている場合
- (2) 市内に震度4以上の地震が発生し対応を必要とする場合
- (3) 市内に気象警報（大雨・洪水・暴風・高潮・大雪）又は気象に関する特別警報が発表されている場合
- (4) 県内に震度5弱以上の地震が発生し対応を必要とする場合
- (5) 県内に気象に関する特別警報が発表され対応を必要とする場合
- (6) 南海トラフ地震臨時情報（調査中、巨大地震注意又は巨大地震警戒）が発表され対応を必要とする場合
- (7) その他、中止することが必要であると判断される事象が生じた場合

ウ 上記イによりサイレン吹鳴などを中止する場合、以下の方法で訓練中止を周知する。

- (1) 市ホームページ（自主防災隊のページ）へ掲載（中止決定次第。前日・当日を除く）
- (2) 災害用伝言ダイヤル「171」（伝言再生用電話番号053-457-2537 別紙2参照）
（当日午前6時30分ごろ）
- (3) 災害用伝言板（web171）（伝言確認用電話番号053-457-2537 別紙2参照）
（当日午前6時30分ごろ）
- (4) 防災ホッとメールの配信（当日午前6時30分ごろ）
- (5) 浜松市公式LINE（緊急情報）の配信（当日午前6時30分ごろ）
- (6) 自主防災隊一斉連絡メール（登録いただいた方のみ）の配信（当日午前6時30分ごろ）

令和6年度浜松市地域防災訓練 訓練項目例

別紙1

番号	大区分	中区分	小区分
1	自助の推進	住 居	住宅の耐震化（※1）、家具の固定（※2）や配置換えを行う。
2			火災防止対策（感震ブレーカー、住宅用火災報知器などの備え）の確認
3			住居周りのブロック塀の点検を行い、避難経路や自宅近隣の危険箇所を確認する。特に橋は段差がでやすいため、通行できない場合の別の避難経路を検討する。
4		備 蓄	ローリングストック法の活用等による、家庭内における食料や携帯トイレ等の生活物資や感染症対策用品等の7日分の備蓄を確認する。
5		確 認	市配布のハザードマップや浜松市防災マップ(GIS)（※3）、防災アプリ「静岡県防災」（※4）により、自宅、学校、職場の災害危険度を確認する。
6			浜松市防災ホットメールや浜松市公式LINE「しゃんべえ情報局」を登録し、自ら情報収集を行う。
7			家族の安否確認方法・集合場所のルール作り
8			「家庭内D I G（※5）」や「家庭内対策（自助）チェックリスト（※6）」等により、各家庭で行う防災対策を認識する。
9			南海トラフ臨時情報について自主防災隊等を通じ、地域住民へ周知する。
10			特別警報について、地域住民自らが的確な避難行動をとれるよう、自主防災隊等を通じて周知する。
11			津波、台風、豪雨時に「高齢者等避難」「避難指示」「緊急安全確保」が発令された場合に、的確な避難行動をとれるよう自主防災隊等を通じて周知する。
12			防災・減災に役立つコンテンツ（※7）をテーマ別・災害別に確認する。
13			防災アプリ「静岡県防災」（※4）の学習コンテンツを活用し、防災に係る啓発活動を行う。
14			電気・ガス・水道・電話・通信・交通機関等の被害の発生を想定した避難行動を確認する。
15			各自の携帯電話の緊急速報メール（※8）の受信設定を確認する。
16			災害用伝言ダイヤル「171」及び災害用伝言板（web 171）（別紙2参照）等の使用方法を確認する。
17			命のパスポート（※9）を確認する。
18		点 検	わたしの避難計画（※10）、マイ・タイムライン（※11）の作成及び地区津波避難計画（作成済の自主防災隊のみ）を確認する。
19			避難先までの経路や時間、津波到達アニメーションで経路を再確認する。（防災アプリ「静岡県防災」の避難トレーニング機能を活用）
20			防災まち歩きにより、自らの避難方法や危険箇所を点検する。
21			「区版避難行動計画（※12）」を活用し、自宅周辺の災害特性を知り、災害発生時の避難行動などについて確認する。
22	共助の実践	体 制	「地域防災活動マニュアル（※13）」を活用し、自主防災隊、消防団、学校、事業所などの連絡体制を確認する。
23			女性専用スペースの設置や避難所運営の意思決定の場に一定数の女性が参画する組織づくりなど、男女共同参画の視点から再確認し、女性のニーズが反映される男女が共に支え助け合う防災体制や避難所運営体制を構築する。
24			「地域防災活動マニュアル（※13）」を活用し、自主防災隊内の人材台帳を作成する。
25			災害時に外国人が孤立しないように、避難所生活体験訓練への参加を促すとともに、「外国人住民のための防災ガイドブック」（※14）を活用し、避難生活の様子などを紹介し、様々な人が共に助け合う防災体制を強化する。
26			「地震防災ガイドブック「やさしい日本語」版」（※14）を活用し、地震の基礎知識などを外国人に紹介し、様々な人が共に助け合う防災体制を強化する。

番号	大区分	中区分	小区分
27	共助の実践	体 制	地域の防災人材や消防団など防災に関する専門的な知識と経験を有する者と訓練を実施する。
28			企業の持つ「組織力」「資材力」「技術力」を生かし、人材や企業と連携した訓練を行う。
29			避難時間の短縮を図るため、津波避難施設への道順をわかりやすい場所に掲示するなど、避難方法の見える化を図る。
30			「自主防☆初動チェックリスト（※6）」を用いて初動体制を確認する。
31			地域防災指導員や地域防災人材バンク（※15）登録者を積極的に活用し、地域の防災力の底上げを図る。
32			事業所等が有する人的・物的な防災資材を確認し、地域と事業所等との協力体制を構築する。
33			「避難行動要支援者名簿（※16）」を作成し、避難行動要支援者の所在の把握と支援方法を確認する。
34			在宅避難、車中避難など避難行動中の方すべてに対して、必要な情報伝達を行い、食料・生活必需品等が行き渡る体制を構築する。
35			事業所等は、災害により従業員や利用者等が帰宅困難となることを想定し、滞在スペースや必要物資等を確認する。
36		支 援	「避難行動要支援者名簿（※16）」の整備・更新を進める。
37			世帯台帳、避難行動要支援者名簿（※16）、津波避難台帳（※17）等を活用した安否確認訓練を実施する。
38			特別な介助が必要な住民の避難所受入体制を検討するとともに、福祉サービスが継続して受けられる福祉避難所等との連携を確認する。
39		運 営	「～男女共同参画の視点から～ みんなが共に支え助け合う防災ブック」（※18）を活用し、男女双方の視点を取り入れた避難所運営訓練を実施する。
40			発災後の避難所生活をイメージしてもらうため、地域住民を対象に、感染症対策や衛生環境改善（簡易トイレ・マンホールトイレ等）を踏まえた避難所運営訓練を実施する。
41			「避難所のペット飼育管理ガイドライン」や「ペット同行避難マニュアル」（※19）に基づき、ペットとの同行避難を想定した避難所運営訓練を実施する。
42			「自主防災組織活動（共助）チェックリスト（※6）」を活用し、取組が進んでいない活動を具体的に把握し、それに対応する訓練を実施する。
43			地区津波避難計画（作成済みの自主防災隊のみ）を見直す。
44		訓 練	「イメージＴＥＮ」を通じて、自主防災組織本部運営マニュアルを見直す（※20）。
45			避難所の円滑な設置・運営のため、避難所運営ゲーム（ＨＵＧ）（※21）等を活用する。
46			津波避難施設へ避難後、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）発表下において、津波警報が解除された場合、津波浸水がないと想定される避難所への避難訓練を行う。
47			防災アプリ「静岡県防災」（※4）の避難トレーニング機能を活用し、避難先までの経路や時間、津波到達アニメーションで経路を再確認する。
48			「黄色いハンカチ作戦（※22）」の実施など、地域における安否確認訓練を実施する。
49			地域防災の新たな担い手として、中・高校生等の地域防災訓練への参加を促進する。
50			若年世代とともに「防災資機材・防災用品点検チェックリスト（※6）」を活用し、避難所や自主防災倉庫の資機材等を点検し、操作方法の習熟を図る。
51			地域における率先避難者（※23）の育成を図る。
52			防災資機材を適切に保管・管理するとともに、訓練を通じ、防災資機材を活用できる人材の育成を図る。

番号	大区分	中区分	小区分
53	共助	訓練	「地域防災活動マニュアル（※13）」を活用し、災害種別ごとの避難訓練を行う。
54	地域特性	風水害への対応	浜松市防災マップ(GIS)（※3）等で自宅や職場等の災害危険度を確認する。
55			避難行動判定フロー等を活用して避難行動を確認する。
56			避難行動が同一となる地域で、「わたしの避難計画（※10）」や「マイ・タイムライン（※11）」を作成する。
57			浜松市防災マップ(GIS)（※3）等を利用して、浸水想定区域図による自宅や職場等の災害危険度を確認する。
58			浜松市防災マップ(GIS)（※3）等で指定緊急避難場所や避難所を確認するとともに、避難経路も確認する。
59		孤立集落の対応	孤立が予想される地域において住民が、実災害時、安全にヘリコプターと連携を行えるようヘリポート開設訓練等を実施する。
60			孤立が予想される地域における通信訓練を実施する。
61			孤立が予想される地域の住民が主体となった給水訓練や炊出し訓練等を実施する。
62	その他	外部との連携等	各種訓練を通じて、各区本部等と自主防災隊の役割分担を確認する。
63			災害ボランティアと連携要領を確認する。
64			病院、診療所、医療関係団体等との連携要領を確認する。
65			福祉避難所の運営について、施設管理者等と連携要領を確認する。
66			地域内輸送拠点（浜松市物資受入拠点）から避難所までの物資輸送の方法や手順を確認する。 ※参照：浜松市広域受援計画（R4.4浜松市）

- ※1 住宅の耐震に関する公的な支援や取組等について、詳細は「別紙1-1」のプロジェクト「TOUKAI-0」の概要をご覧ください。
- ※2 対象世帯に該当する場合、家具の固定にかかる業者を市が派遣し、器具取付け作業代を市が負担します。詳細は「別紙1-1」の家具転倒防止事業のリンク先を参照してください。
- ※3 詳細は「別紙1-1」の浜松市防災マップのリンク先を参照してください。
- ※4 アプリのダウンロードは「別紙1-1」の静岡県防災アプリのダウンロードをご覧ください。
- ※5 自宅の平面図などを見ながら家族全員で災害時の対応策を考える訓練。詳細は「別紙1-1」の家庭内DIG～地震がきても、わが家で暮らす方法～のリンク先を参照してください。
- ※6 詳細は「別紙1-1」の各種チェックリストのリンク先を参照してください。
- ※7 詳細は「別紙1-1」の防災・減災に役立つコンテンツのリンク先を参照してください。
- ※8 詳細は「別紙1-1」の携帯電話各社緊急速報メールのリンク先を参照してください。
- ※9 詳細は「別紙1-1」の命のパスポートのリンク先を参照してください。
- ※10 詳細は「別紙1-1」の一人ひとりの避難計画「わたしの避難計画」のリンク先を参照してください。
- ※11 詳細は「別紙1-1」の風水害に備えるマイ・タイムライン（自分の命は自分で守る）のリンク先を参照してください。
- ※12 詳細は「別紙1-1」の【災害用パンフレット】区版避難行動計画のリンク先を参照してください。
- ※13 詳細は「別紙1-1」の地域防災活動マニュアルのリンク先を参照してください。
- ※14 詳細は「別紙1-1」の災害情報・防災（多文化共生地域づくり）外国人住民のための防災情報のリンク先を参照してください。
- ※15 詳細は「別紙1-1」の地域防災人材バンク名簿についてのリンク先を参照してください。
- ※16 高齢者や障害のある人など、要配慮者を災害から保護するために必要な措置を実施するための基礎となる名簿。
- ※17 住民の安否確認を行う上で必要となる、住所、氏名、避難場所、避難経路等を記載した台帳。
- ※18 詳細は「別紙1-1」の男女共同参画の視点からの防災 みんなが共に支え助け合う防災ブックを参照してください。
- ※19 詳細は「別紙1-1」の犬・猫の飼い主の方のリンク先を参照してください。
- ※20 災害時に自主防災組織がどのように対応したらいいかを具体的に考えるイメージトレーニング。詳細は「別表2」の自主防災組織災害対応訓練「イメージTEN」のリンク先を参照してください。
- ※21 「避難所運営ゲーム」HUG（Hinanzyo Unei Game）とは、避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲーム。詳細は「別紙1-1」の避難所運営ゲーム（HUG）についてのリンク先を参照してください。
- ※22 災害時において無事であった家庭が、玄関先に黄色いハンカチを掲げることにより、救助の必要がない旨を近所に伝える安否確認体制のこと。
- ※23 率先避難者とは、身近に危険の兆しが迫っている時に、その危険をイメージし、自ら率先して危険を避ける行動を起こす人。

参考情報

静岡県防災アプリのダウンロード	・ Google Play からダウンロードする場合 https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.shizuoka.pref.bousai&hl=ja	
	・ App Store からダウンロードする場合 https://apps.apple.com/jp/app/id1455301913?l=ja&ls=1	
新型コロナウイルス感染症関連	・ 新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所開設・運営訓練ガイドライン（第三版） https://www.mhlw.go.jp/content/000794047.pdf	
	・ 災害時における新型コロナウイルス感染症の防止対策 https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/1040812/1029847.html	
地震被害想定 防災対策関係	・ 静岡県第4次地震被害想定 https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/earthquake/1040810/1029867.html	
	・ T O U K A I - O（木造住宅耐震化プロジェクト） https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/kenchiku/taishinka/1041569/1041773/index.html	
	・ 耐震ナビ 静岡県住宅耐震補強ITナビゲーション https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/kenchiku/taishinka/1041569/index.html	
	・ だって、みんなで助けたいもん！～いざという時役に立つ、防災訓練事例集 Vol. 2～ https://www.pref.shizuoka.jp/_res/projects/default_project/_page/001/029/998/255-2011-1.pdf	
	https://www.pref.shizuoka.jp/_res/projects/default_project/_page/001/029/998/255-2011-2.pdf	
	・ 命のパスポート https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/earthquake/1030067.html	
	・ 防災の本棚 https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/earthquake/bosaicenter/1003638/1003653/1003656/index.html	
	・ 地震対策情報 https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/earthquake/bosaicenter/1003638/1043919/1040349/index.html	
	・ 家具転倒防止事業 https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kiki/disaster/bousai/new/bosainews.html	

地震被害想定 防災対策関係	・【災害用パンフレット】区版避難行動計画 https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kiki/disaster/bousai/hinankoudoukeikaku/index.html	
自主防災隊関係	・一人ひとりの避難計画「わたしの避難計画」 https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/1040812/1029856.html	
	・地域防災活動マニュアル https://asset.hinanjyo.jp/shizuoka/pdf/regional_disaster_prevention_activity_manual.pdf	
	・災害情報・防災（多文化共生地域づくり）外国人住民のための防災情報 https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/1049844/tabunkachiiki/1056999/1015576.html	
	・男女共同参画の視点からの防災 みんなが共に支え助け合う防災ブック https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/jinkennpo/danjokyodo/1058838.html	
	・自主防災組織災害対応訓練「イメージTEN」 https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/jishubosai/1030089.html	
	・家庭内DIG ～地震がきても、わが家で暮らす方法～ https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/earthquake/bosaicenter/1003638/1043919/1035049.html	
	・備蓄について https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/bosaijoho/1030019.html	
	・避難所運営ゲーム（HUG）について https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/earthquake/bosaicenter/1003638/1043919/1030041.html	
	・『防災・減災』お役立ち情報 「自然災害から命を守るため、知っておいてほしいこと」 https://www.gov-online.go.jp/tokusyuu/cu_bosai/index.html	
	・ペットの地震対策 https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/eiseiyakuji/dobutsuaigo/1003146/1025167.html	
	・南海トラフ地震臨時情報の確認（静岡県ホームページ） https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/earthquake/nankaito-rafu/index.html	
	犬・猫の飼い主の方（ページ下部「災害時に備えて」） https://www.hama-aikyou.jp/information/kainushi/	

自主防災隊関係	各種チェックリスト ・ 突発地震発生時の自主防☆初動チェックリスト ・ 避難所運営チェックリスト ・ 家庭内対策（自助）チェックリスト ・ 自主防災組織活動（共助）チェックリスト ・ 防災資機材・防災用品点検チェックリスト ・ 集合住宅の災害時の安全対策チェックリスト https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/jishubosai/1030017.html	
人材の活用	・ 地域防災人材バンク名簿について https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/earthquake/bosaicenter/1003638/1003653/1034674.html	
緊急速報メール 携帯電話各社 HP	・ NTT ドコモ https://www.nttdocomo.co.jp/service/areamail/	
	・ KDDI (au) https://www.au.com/mobile/anti-disaster/kinkyu-sokuho/	
	・ UQ mobile（登録エリア災害・避難情報メール） ※緊急速報メールは KDDI（au）のリンクをご覧ください。 https://www.uqwimax.jp/mobile/plan/option/area-saigai-hinan/	
	・ ソフトバンク https://www.softbank.jp/mobile/service/urgent_news/	
	・ Y!mobile https://www.ymobile.jp/service/urgent_mail/	
	・ 楽天モバイル https://network.mobile.rakuten.co.jp/service/emergency-alert-mail/	
電話各社の災害用 伝言サービス	ソフトバンク https://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/ Y!mobile https://www.ymobile.jp/service/dengon 楽天モバイル https://mobile.rakuten.co.jp/news/anpi_20160415/	  

電話各社の災害用 伝言サービス	・ 災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板 http://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/net_anzen/hijyo/dengon.html	
	・ 一般社団法人電気通信事業者協会 https://www.tca.or.jp/information/disaster.html	
	NTT 東日本 http://www.ntt-east.co.jp/saigai/index.html	
	NTT 西日本 https://www.ntt-west.co.jp/dengon/	
	NTT ドコモ https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/index.html	
風水害対策	KDDI (au) https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/	
	UQ mobile https://www.uqwimax.jp/information/202102141.html	
	・ 浜松市防災マップ https://hamabosai.maps.arcgis.com/apps/webappviewer/index.html?id=d4070f31679d487ab858eb38d1d6ae3a	
	・ ハザードマップポータルサイト https://disaportal.gsi.go.jp	
	・ 国土交通省 浸水ナビ(地点別浸水シミュレーション検索システム) https://suiboumap.gsi.go.jp/	
	・ 風水害に備えるマイ・タイムライン(自分の命は自分で守る) https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kiki/hazard_map/timeline.html	
	・ マイ・タイムラインの取組(★みんなでタイムラインプロジェクト★) http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate00285.html	
	・ 風水害対応イメージＴＥＮ https://www.pref.shizuoka.jp/_res/projects/default_project/_page_001/043/513/01text.pdf	

回 覧

瞳ヶ丘自治会会員 各位

令和5年8月4日

瞳ヶ丘自治会
会長

令和5年9月防災訓練参加のお願い

日頃より自治会活動にご協力、ご支援頂き、誠にありがとうございます。

標記件につきまして、令和5年度瞳ヶ丘自主防災隊の活動計画より、自治会会員各戸の参加による防災訓練を実施致します。

災害発生時には、自らの身を守り、家族の安全を確保し地域で協力し合う訓練となります。

ご多忙な所、大変ご面倒をお掛け致しますが、下記要綱にて参加をお願いいたします。

記

令和5年9月3日防災訓練(点呼訓練)計画

対 象: 自治会全戸(780戸)

時 間: 午前8時00分～9時30分

場 所: 瞳ヶ丘公民館、瞳ヶ丘中央公園

【訓練内容】

【対 象】

1、黄色いハンカチによる、安否確認訓練

自治会住民全戸

午前8時に地震発生したと想定して(特別な合図はしません)各自点検後

安否確認の黄色いハンカチを掲出してください。**避難訓練は行いません。**

2、点呼表による点呼訓練

班長以上

班長は黄色いハンカチ掲出の有無を確認して点呼表に記入し中央公園に移動。**班長は班の世帯数と黄色いハンカチ掲出数を組長に報告。*****組長は組の世帯数と黄色いハンカチ掲出数を部長に報告。*****部長は部の世帯数と黄色いハンカチ掲出数を本部に報告。*****点呼表は訓練終了後本部に提出。**

3、避難所設営訓練

自治会防災組織・自主防災隊

対策本部テント設営と避難場所線引き表示。**トランシーバーによる連絡訓練**

本部(公民館)と一時避難場所対策本部(中央公園)



BENTENJIMA
FIREWORKS DISPLAY

7/5 SAT

雨天決行
荒天中止

13:30~20:30
浜松市弁天島海浜公園

弁天島花火大会

2023年版・弁天島フォトコンテスト
優秀賞「夏風雅」
手塚 誠次（掛川市）

EVENT OUTLINE

昼の部 13:30~15:30

2025はまなこ夏フェスタの開催

- 13:30~ 浜松市消防音楽隊演奏
- 14:00~ 浜松商業高校吹奏楽部演奏

■2025はまなこ夏フェスタ

主催：はまなこ夏フェスタ実行委員会（一般社団法人舞阪町観光協会）

共催：浜松市、中日新聞東海本社

後援：（公財）浜松・浜名湖ツーリズムビューロー、浜松商工会議所、浜名商工会

協力：弁天島温泉旅館組合、舞阪地区自治会連合会、弁天島遊船組合 他

協賛：遠州信用金庫、浜名湖リゾート企業団、浜名湖養魚漁業協同組合 他 順不同

音楽ステージイベント

- 14:30~ ライブステージ(Bemy)
- 15:00~ 沖縄エイサーステージ
(NPO法人創作太鼓童衆 希宝)

※雨天時は安全上、ステージイベントは中止にさせていただきます。また、急遽内容の変更がある場合がございますのでご了承ください。

夜の部 19:30~20:30

弁天島花火大会 20:00~20:30

大会挨拶／実行委員長 岡安俊成
浜松市長 中野祐介

■弁天島花火大会

主催：弁天島花火大会実行委員会

後援：浜松市、舞阪地区自治会連合会、中日新聞東海本社、浜名商工会

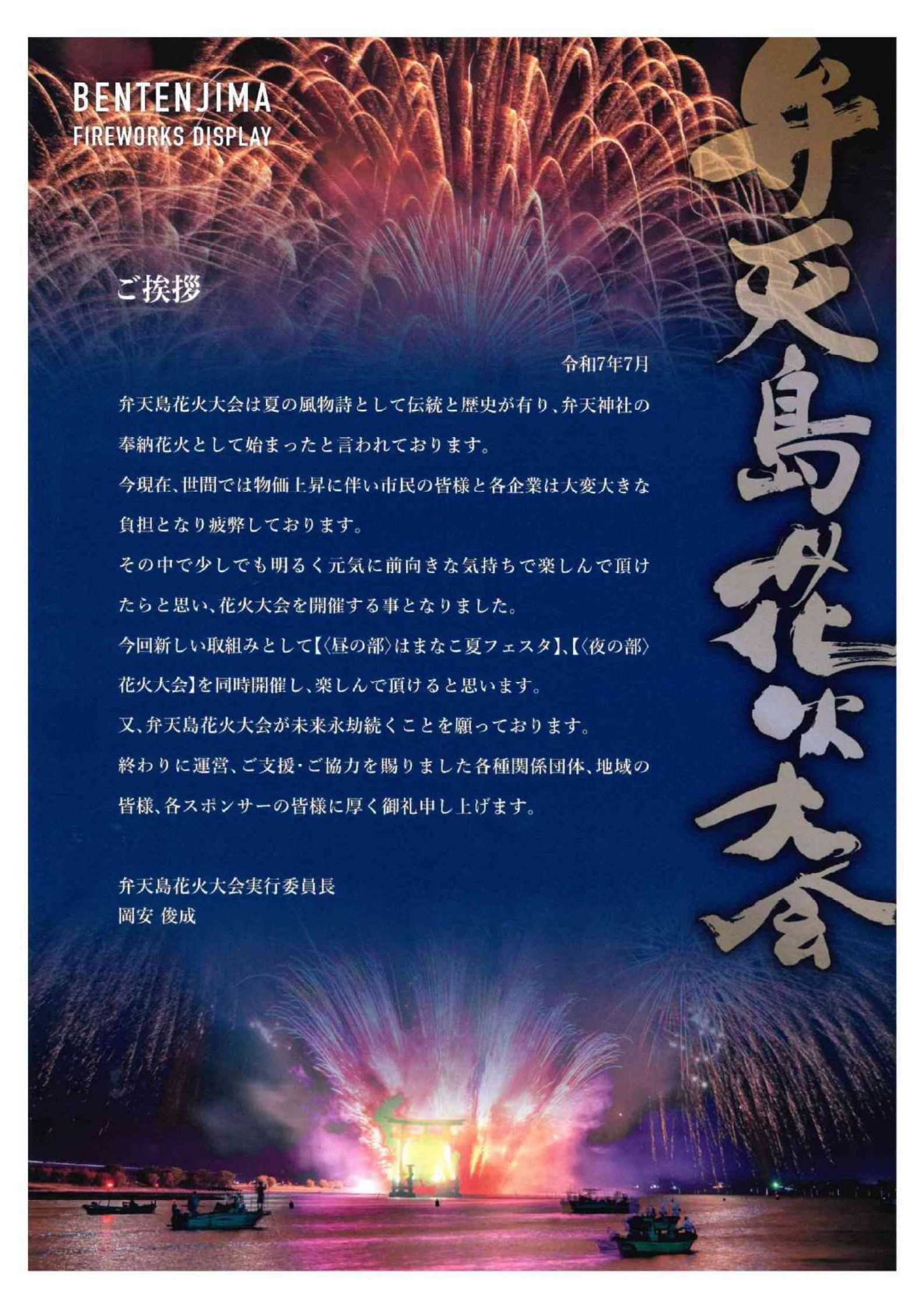
【事務局】浜松市中央区舞阪町弁天島3775-2

一般社団法人舞阪町観光協会内 ☎053-592-0757

会場には一般駐車場及び駐輪場はございませんので公共交通機関をご利用ください。
当日は混雑が予想されるため現場警察官及び交通指導員の指示に従うようご協力願います。

会場における
注意事項とお断り

■弁天島海浜公園内でのドローン撮影は禁止です。■浜松市弁天島海浜公園内での三脚を用いたの撮影はカメラ専用エリア（有料）に限りです。カメラ専用エリア（有料）の詳細は、一般社団法人舞阪町観光協会HPをご確認ください。■当日は交通規制があります。公共交通機関をご利用ください。■雨天決行・荒天中止となります。



BENTENJIMA FIREWORKS DISPLAY

ご挨拶

令和7年7月

弁天島花火大会は夏の風物詩として伝統と歴史が有り、弁天神社の奉納花火として始まったと言われております。

今現在、世間では物価上昇に伴い市民の皆様と各企業は大変大きな負担となり疲弊しております。

その中で少しでも明るく元気に前向きな気持ちで楽しんで頂けたらと思い、花火大会を開催する事となりました。

今回新しい取組みとして【〈昼の部〉はまなこ夏フェスタ】、【〈夜の部〉花火大会】を同時開催し、楽しんで頂けると思います。

又、弁天島花火大会が未来永劫続くことを願っております。

終わりに運営、ご支援・ご協力を賜りました各種関係団体、地域の皆様、各スポンサーの皆様に厚く御礼申し上げます。

弁天島花火大会実行委員長
岡安 俊成

弁天島花火大会



プログラム

PROGRAM



MC
小沼みのりさん
Minoru Konuma

昼の部 13:30~ 会場: イベントステージ

13:30~ 浜松市消防音楽隊演奏

浜松市消防音楽隊は、昭和45年に県下初の消防音楽隊として誕生し、今年で55周年を迎えました。普段は消防隊員として働く職員等で編成され「音楽の都・浜松」にふさわしい音楽隊として、浜松市内で行われるイベント等に参加し、消防広報を行っています。今宵の花火と共に、心躍る演奏をお楽しみください。



@HAMAMATSU_SHOBO

14:00~ 浜松商業高校吹奏楽部演奏

私たちは「聴いてくださるお客様と共に感動できる音楽・心創り」を目指して活動しています。今年度は「RESTART」を掲げて、新たに自分たちの道を切り開いていこうと、明るく前向きに練習しています。36人の部員で心を込めて演奏します。



14:30~ ライブステージ(Bemy)

浜松市在住 シンガーソングライター Bemy(ベミー) 音楽あふれる街 浜松を目指し、市内のカフェやレストランで幅広いジャンルのピアノ弾き語りライブを行う。オリジナル曲「HAMAMATSUへ行こう」や、舞阪町観光協会公式イメージソング「舞阪のまち弁天島 ~Feel Nature~」を制作するなど、音楽活動を通して浜松市の魅力を発信している。



Bemy



Instagram
にて発信中

15:00~ 沖縄エイサーステージ(NPO法人創作太鼓童衆 希宝)

私達希宝(きほう)は、今年で結成9年目をむかえる沖縄創作エイサーチームになります。浜松市を拠点に活動しており総勢40名のメンバーで地元浜松に沖縄創作エイサーを広めたいとの思いで福祉施設でボランティア活動や各地のお祭りに出演しております。



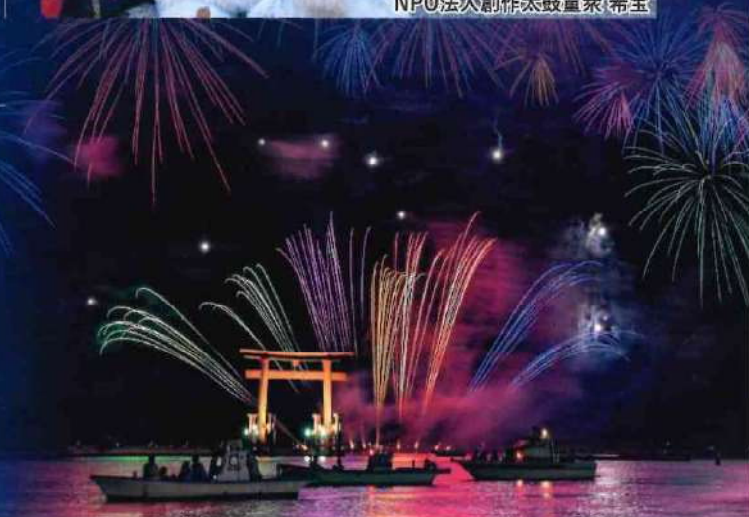
夜の部 19:30~20:30

弁天島花火大会 約1,000発

大会挨拶

実行委員長 岡安 俊成

浜松市長 中野 祐介様



SUMMER
HAMANAKO

ENJOY!

弁天島海水浴場

海開き!

はまなこ夏フェスタ 2025

海水浴を安全に楽しむために! みんなで探そう!

参加者募集!
※事前予約制

浜松弁天島
海浜公園内の
安全チェック

定員 50名 対象 小学1年生～6年生

海の安全教室!

夏に役立つ
豆知識

図書カード
1,000円分
& 飲み物
プレゼント!

左記の3つのイベントに
参加された方全員に



お申込はこちら →

定員50名に達し次第、締め切ります



車でお越しの方は弁天島海浜公園内の駐車場をご利用ください(有料:1台410円)

イベント1
海水浴を安全に楽しむために!
みんなで探そう! (※※)
海浜公園内の安全チェック
～公園内の安全を確認しよう～

浜松弁天島海浜公園内を警察観光協会スタッフとくると1巡し、安全チェックを行います! 危険な場所はないかな? こんな施設・スペースがあったらもっと使いやすく便利になると思うなど小学生の皆さんの意見を聞かせてください! 浜松弁天島海浜公園のマップをご用意します。公園内をぐるっと1周して感じたことを書き込もう!

申込時間 9:20 開場 9:30～10:30
定員 50名 対象 小学生
※事前予約制

イベント2
海の安全教室
～海上保安庁のおはなし～

日々海の安全を守る海上保安庁の方から、海の安全についての紙芝居や舟になるおはなしを聞きます。

開催 10:30～11:00

海上保安庁のおはなし

イベント3
夏に役立つ豆知識
～ライフセーバーのおはなし～

『ライフジャケットの付け方は?』『おぼれたらどうする?』
役立つ教養法についておはなしをします。

開催 11:00～11:30

防災委員会 津島地区
浜松ライフセービングクラブ
古橋 理さん

「ライフジャケットの正しいつけ方は?」「おぼれたらどうする?」海で安全に遊ぶための豆知識などを現場ライフセーバーからお話を聞きます。

当日ご参加いただいた小学生の皆さんにはアンケートにご協力いただきます。回答いただいたアンケート結果は今後の浜松弁天島海浜公園の改善・修繕に役立てさせていただきます!

2025
7/13日
9:30
～
11:30

浜松弁天島海浜公園

当日雨天
の場合

当日AM7:00時点で【気象警報】が出た場合は中止となります。舞阪町観光協会ホームページでお知らせします。

お問い合わせ

(舞阪町観光協会)
はまなこ夏フェスタ実行委員会
TEL.053-592-0757

主催 はまなこ夏フェスタ実行委員会(一般社団法人舞阪町観光協会)
後援 (公財)浜松・浜名湖ツーリズムビューロー、浜松商工会議所、浜名商工会
協賛 遠州信用金庫、浜名湖ポートレース企業団、浜名湖養魚漁業協同組合 他

共催 浜松市、中日新聞東海本社
協力 弁天島温泉旅館組合、舞阪地区自治会連合会、弁天島遊船組合 他
順不同